

現地視察会を開催しました！

開催日時：令和4年5月16日（月）13:00～16:30

視察場所：【高架化事例】中央ラインモール（JR 中央本線：武蔵小金井駅及び東小金井駅周辺）
【地下化事例】下北線路街（小田急線：東北沢駅～世田谷代田駅）

参加者：8名

現地視察会

連立事業及びまちづくりのイメージを共有することを目的に、先進事例地区への視察を行い、連立事業とあわせて行われたまちづくり事業の実施による“まちの変化”、“新たに生まれた空間（高架下空間や鉄道上部空間、鉄道跡地等）の活用方法”について確認しました。

＜現地視察会の様子＞



中央ラインモール



下北線路街

第4回勉強会を開催しました！

開催日時：令和4年5月30日（月）18:00～20:00

開催場所：大田区民プラザ 第1・2会議室

参加者：14名（傍聴者：6名）

レクチャー

（一社）おおたクリエイティブタウンセンター（以下「OCTC」という。）の野原センター長より、ワークショップに向けて「駅まち空間の整備の考え方」と「その先進事例」についてレクチャーをいただきました。

その中で、**駅とその周辺のまちを重要な都市の資源として捉え、一体的な空間として検討することにより、駅周辺の資源の有効活用が図られ相乗効果を発揮することができる**など、駅とその周辺のまちづくりを一体的に検討することの重要性を説明されました。

また、現地視察会や先進事例等を踏まえ、今後の下丸子のまちづくりを検討するうえで大事な3つのポイントを挙げられました。

＜レクチャーの様子＞



ポイント① 全体コンセプトを設定し、そのコンセプトを共有し取組を実践すること

ポイント② 官・民が連携・協力し、一体的な空間として整備すること（官民境界をあいまいに）

ポイント③ 空間をつかう人を育てること

ワークショップ

「駅周辺の20年後の姿を考えよう！」をテーマに、3つのグループに分かれてワークショップを行いました。

20年後の下丸子のまちづくりを考える上で、『視点①：駅周辺の20年後の姿』、『視点②：駅周辺に求められる機能』等について意見交換を行いました。各グループの意見の一部をご紹介します。

<Aグループ>

視点①	「開放的な空間や緑」「歩行者中心の道路」「新旧のまちなみが共存している」「住民・企業・行政の連携」などがあり、居心地の良い活気のある空間を創出したい 等
視点②	歴史や文化施設が集積し交通利便性が高く、地元住民が安心して暮らすことができる拠点機能がある施設 等

<ワークショップの様子>



<Bグループ>

視点①	「水・空気・風が感じられる駅」「新宿のゴールデン街に似た路地裏や神社等の歴史を感じることができる」「障がい者に優しいまちづくり」「にぎわいや滞留の創出」などがあり、多様性に配慮し、歴史や自然環境と調和した空間を創出したい 等
視点②	行政機能を持ち交通利便性が高く、交流やアートなどの憩いの場となる機能 等



<Cグループ>

視点①	「学び・交流の場」「企業と協力し活性化」「どんな世代も歩きやすい空間」「よい自然を活かしたい」「イノベーション拠点」などがあり、自然や企業がある環境を活用し、学びや交流を通じて賑やかでくつろげる空間を創出したい 等
視点②	だれもが安心できる遊びスペースや交通空間が整備され、自然資源や企業と協力して学びや交流を深めることができる拠点機能がある施設 等



第5回勉強会の開催について

テーマ：『地区全体の20年後の姿を考えよう！』

開催時期：令和4年6月24日（金）18：00～20：00（予定）

場所：矢口特別出張所（大会議室）矢口2-21-14

※勉強会の様子は傍聴することができます。（以下の問い合わせ先への事前申し込みが必要です。）

また、勉強会の結果は、取りまとめ次第、区のHP（右下QRコード）に掲載します。

【お問い合わせ先】

大田区 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課（担当：松島、大桑、小原、工藤）

TEL：03-5744-1212（直通） FAX：03-5744-1526

E-mail：kaiatsu@city.ota.tokyo.jp

下丸子駅周辺のまちづくり
の詳細は区HPをご覧ください
区HPはこちらから⇒

